

関東東海北陸農業試験研究推進会議果樹部会
平成 25 年度現地研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 果樹部会
部会長 農研機構果樹研究所 樫村芳記

1. 趣旨

我が国の果樹農業は、担い手の高齢化や後継者不足、果実消費の低迷など厳しい状況に置かれており、収益性を高め、生産を維持・発展させるための産地再編が重要な課題となっている。

本年度の現地研究会においては、このような状況を踏まえ、産地再編を進める上で不可欠となる省力化や早期成園化に資する技術の研究開発状況について話題提供するとともに、今後の研究開発方向について検討する。

2. 開催日時 平成 25 年 7 月 3 日（水）13:30 ～ 4 日（木）12:00

3. 開催場所

1) 研究会（1 日目午後）

平塚プレジール TEL 0463(25)0195

2) 現地視察（2 日目午前）

①神奈川県農業技術センター（平塚市上吉沢）

②カンキツ新品種「湘南ゴールド」栽培園（小田原市早川）

4. 検討事項

テーマ：「産地再編のための省力化や早期成園化をめざした果樹研究の最新動向」

1) 研究会（7 月 3 日 13:30～17:30）

(1) 話題提供

①生産コスト削減と消費者に求められる果物作り

日本園芸農業協同組会連合会

高辻豊二

②リンゴ生産における省力、低コスト化技術の開発

長野県果樹試験場

小川秀和

③スモモのジョイント栽培

群馬県農業技術センター

平井一幸

④カンキツ生産における省力・低コスト化

静岡県農林技術研究所果樹研究センター

山家一哲

⑤ニホンナシの結実管理技術の超省力化

新潟県農業総合研究所園芸研究センター

松本辰也

⑥植調剤利用による省力・低コスト化

(独)農研機構果樹研究所

草場新之助

⑦全国のジョイント栽培研究の動向について

神奈川県農業技術センター

柴田健一郎

(2) 総合討議

(3) その他

①25年度の推進会議予定

②今後の現地研究会担当予定等

2) 現地視察 (7月4日 8:30~12:00)

(1) 出発場所・時間 JR 平塚駅前

8:30

(2) 視察地

①神奈川県農業技術センター (平塚市上吉沢)

9:00~10:00

②カンキツ新品種「湘南ゴールド」栽培園 (小田原市早川)

10:50~11:50

(昼食)

12:00~12:40

(3) 解散場所・時間 JR 小田原駅

13:00

5. 参集範囲

関東東海北陸地域各都県行政・試験研究機関、農林水産省生産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、(独)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター、果樹研究所、その他部会長が必要と認めた者

6. その他

参加申し込み、資料提出、その他の詳細については、別途事務局(神奈川県農業技術センター)から連絡する。